



宇治市議会議員 Kenichi Hirata

# ひらた研一

市議会ニュース Vol.06

平成 9年 4月 25日 第3種郵便物認可

**民主**  
PRESS MINSHU  
号外  
2006.3.31

民主党プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
TEL.03-3395-9988(代表)  
http://www.dpj.or.jp

ひらた研一事務所

宇治市木幡南山 15-200  
TEL&FAX: 0774-33-8199  
E-mail: hirata@wao.or.jp  
http://www.wao.or.jp/hirata/

Hirata Kenichi City Assembly News  
Vol.06 HEAD TOPICS

## メール問題についてのお詫び

一連のライブドアに関する「メール」問題について、民主党の前原代表から改めて3月2日にお詫びが発表されました。以下に抜粋して掲載いたします。

このたび、ライブドア問題審議の中で、永田寿康衆議院議員が取り上げました、「メール」をめぐって、みなさまに大変なご心配、ご迷惑をおかけし、お叱りを頂戴する事態となりました。党代表として、深くお詫びを申し上げます。

民主党は、2月28日に、永田議員が取り上げた「メール」は堀江容疑者が発信したものではありませんとの調査結果を発表しました。その上で、永田議員を処分し、議員は昨日、民主党の会派を離脱しました。また、鳩山幹事長は自ら嚴重注意処分を受け、野田国会対策委員長は辞任致しました。そして、党代表の私と鳩山幹事長が公開の記者会見で、正式に、国民のみなさま、自民党・武部幹事長と同氏のご次男をはじめ、関係者のみなさまに謝罪をいたしました。

永田議員の質問については、国対委員長から慎重な吟味に基づく質問を促していましたが、大変残念な展開となりました。また、代表として、党首討論の場などにおける私自身の発言内容についても軽率の誹りは免れませぬ。党代表としての自らの発言について、慎重の上にも慎重を期すべきであったと猛省しております。

～中略～

今回の件で総選挙敗北から立ち直りつつあった民主党は再びゼロから信頼回復に臨むこととなります。いま、その責任を強く噛み締め、必ずやお叱りと激励に添えてまいります。重ねて深くお詫び申し上げます。

### 【平田研一の見解】

私自身、今回の前原代表を始めとする党執行部の軽率な言動と対応のまずさ(遅さ)に強い憤りを感じています。しかし、それ以上にこの間皆さまにお掛けしたご迷惑を考えるとお詫びのしようもございません。

関係者の辞任と辞職で一応のけじめはつきますが、私も今回の問題を教訓として地元選出の山井和則衆議院議員と一丸となり政治への信頼回復に取組む所存でございます。

ご理解の程、よろしくお願いいたします。



憧れの松下村塾(萩市)前で

## 『まちづくり学習会』のご案内【どなたでもお気軽にお越し下さい】

●日時 2006年 **4月22日**(土曜日)  
**19:00 ~ 20:00**

●場所 **東宇治コミュニティセンター**  
宇治市五ヶ庄三番割 36-5 電話: 0774- 39- 9183  
(京阪・JR黄檗駅から徒歩5分)

●入場料 **無 料**

◆国政報告 報告者: **山井 和則** 衆議院議員

◆市政報告 報告者: **平田 研一** 宇治市議

- 1 市町村合併について
- 2 宇治市の抱える課題(行財政改革・教育・福祉)について
- 3 まちづくり(地域課題)について

## 2005年 12月 定例会報告

## 【ひらた研一の見解】...事業仕分け

## 答 弁

## 質 問

## 1 行財政改革関連

市の仕事の『事業仕分け』実施について

地域予算制度導入について

(地域に一定の金額を交付し地域自らが優先順序をつけて施策を行なう制度)

行財政改革における「コミュニティビジネス」

(地域課題は地域で解決していくことを目的としたビジネスモデル)の位置づけについて

第二次宇治市定員管理計画を策定し平成23年度を目標に約1割(140人)の職員定数の削減を目指している。その際、事業仕分け方式に近い手法を取り入れて効率的な行財政運営の確立と行政組織のスリム化を図っていく。

本市ではまちの特徴を活かして、「ミゼン」や集会所をまちづくりの拠点として位置づけ、様々な地域活動に支援を行なう手法を採用している。

他市にはすでに「コミュニティビジネス」の育成・支援を行なっているところもあるが、本市では今後の検討・研究課題としている。

行政改革とは、単に職員数を減らす「予算を減らす」といった財政優先の小さい市役所づくりを目指すのではなく、「公」の果たすべき役割つまり行政の仕事の範囲や手法の見直しを行なうものである。その方法として既に各地で採用され実績を上げている外部の手を借りた「事業仕分け」を本市でも実施すべきである。本市の事務事業見直しは、市職員による見直しであり限界がある。

事業仕分けとは

自治体の事務及び事業を要・不要に分け、必要な事業を民間、都道府県、国、市などが実施すべきか仕分ける方法。平均13%の事務事業は不要若しくは民間の作業というデータがある。

「コミュニティビジネス」とは(経済産業省の報告書より)

地域住民が中心となって、地域が抱える課題を、ビジネスとして継続的に取り組むことにより、地域の問題を解決し、新たな雇用を創りだして、地域を活性化する事業。

## 【ひらた研一の見解】

## 答 弁

## 質 問

## 2 福祉行政関連(安心できる老後について)

在宅介護の充実について

基盤整備の状況及びサービス必要量の根拠と緊急時のショートステイについて

施設介護の充実

待機情報の把握と施設の評価について

特別養護老人ホームは平成17年度整備予定が国庫補助金の関係で2年遅れ平成18年度未開設予定、その他は予定通り。在宅サービスの見込み量は平成17年3月に実施した実態調査の利用意向を反映して算出、緊急時のショートステイについては平成18年度に取組む小規模多機能型居宅介護において対応できると考えている。

今回の介護保険の見直しにより全ての介護サービス事業者に介護サービスや運営状況に関する情報の公表を義務付けし、その情報を知事に報告し、知事が内容を公表することにならう。市としても利用者が活用しやすい情報提供を検討していく。

定期的に繰り返し返される介護保険法と医療法の改正、行政が改正内容を正しく理解し施策に反映させることは当然であるが、利用者や納税者である我々市民が納得できる施策ばかりでは無い。

今回の改正主には財政的理由で高齢者福祉は施設から在宅へ大きくシフトするが、情報が少ないことにより不安感を招いている方が多い、正しい情報をいち早く提供するシステムの構築が急務である。

# 3 教育行政について

## 質 問

安全・安心の学校づくりについて  
 宇治小事件直後に実施した緊急対策についてその後検証を行なったのか？

生涯スポーツの充実について

活動場所が無いことが大きな障害になっている、  
 小学校のグラウンドは土曜日の午前中一律に空けてある、  
 利用されていない場合の有効活用は考えられないか？  
 青少年健全育成を目的とした活動の場合

中学校グラウンドの夜間照明使用料減免は考えられないか？  
 (体育館照明は減免済)

## 答 弁

平成16年4月に学識経験者らで構成する「宇治市学校安全管理に関する研究協力者会議」を設置し、安全管理のあり方を総合的に審議、「開いて守る」という取組みにより不審者情報もかなり減ってきたと認識している

グラウンドの有効活用や夜間照明使用料の減免は、実施に向けて検討する(平成18年度より実施)

## 【ひらた研一の見解】

市教委の言う「開いて守る」という掛け声だけでは、行政の役割が見えない。スクールサポーターは評価できるとしても地域に依存し過ぎていて、子どもの安全は、まず子ども自身が危機回避能力をつけることが肝要、家庭や学校での教育、指導が不可欠である。その次に地域力(犯罪抑止力)が問われ、地域力向上には各小学校に設置を義務付けた、学校安全管理委員会への積極的な関与と情報の共有化が必要である。また子どもの安全は市教委だけに任せるのではなく、全市挙げて安全・安心なまちづくり「に取組むべきである。(平成18年度より実施)

育友会を始め各団体が熱望している緊急通報装置が未だに設置されないのは誠に残念。(城陽市は設置済み)



平田 研一

## 活 動 日 記

(2005年7月～12月)

7月

- 3日 鹿児島県人会総会
- 15日 議会だより編集委員会
- 21日 認知症予防講演会(スリーAの増田先生)
- 25日 議会だより編集委員会
- 26日 市立幼稚園陳情
- 28日 木幡中学校校区安全パトロール
- 29日 民主党府連政調委員会
- 30日 民主党府連NPOヒヤリング

8月

- 4日 民主党第6区幹事会
- 6日 宇治駐屯地盆踊り
- 8日 大久保駅街宣活動
- 11日 JR宇治駅街宣活動
- 15日 宇治市平和記念式典
- 17日 笠取慰霊祭
- 21日 衆議院選挙街宣活動
- 22日 近鉄伊勢田駅街宣活動
- 23日 近鉄小倉駅街宣活動
- 25日 建設水道正副委員長会議
- 28日 衆議院選挙街宣活動(菅直人前代表)
- 29日 建設水道常任委員会
- 30日 衆議院選挙山井さん出陣式
- 31日 衆議院選挙街宣活動

9月

- 1-10日 衆議院選挙街宣活動
- 10日 宇治市防火訓練(笠取小学校)
- 11日 衆議院選挙投票日(山井和則さん当選!)
- 16日 9月定例会招集日
- 17日 木幡中学校体育祭
- 19日 宇治市敬老会
- 21日 9月定例会・全員協議会
- 23日 宇治小学校運動会
- 26日 建設水道常任委員会
- 27-29日 9月定例会・一般質問

10月

- 4日 建設水道常任委員会
- 8日 民主党6区幹事会
- 12日 月定例会・最終日  
議会だより編集委員会
- 13日 東宇治コミセン敬老会
- 15日 宇治田楽まつり
- 16日 宇治市緑化フェア(植物園)
- 20日 学校保健大会
- 23日 東木幡連絡協議会
- 29日 情報労連定期大会
- 30日 木幡公民館まつり
- 31日 決算委員会傍聴

11月

- 6日 宇治市福祉祭り
- 8日 議会だより編集委員会
- 11日 宇治市戦没者追悼式
- 12日 東宇治コミセンまつり
- 13日 地域懇談会
- 14日 木幡中校区青少年健全育成協議会
- 15日 建設水道常任委員会
- 16-18日 建設水道常任委員会行政視察(柳井市・下関市・萩市)
- 20日 おもしろいやんか木幡(青少協)
- 21日 宇治市都市計画審議会
- 23日 宇治市技能功労賞表彰式
- 24日 委員会行政視察報告
- 27日 民主党府連政調委員会
- 30日 臨時議会

12月

- 2日 スポーツ関係者懇親会
- 5日 12月定例会招集日
- 6日 市長へ会派予算要望提出
- 7日 12月定例会・全員協議会
- 8日 宇治小学校安全連絡会
- 12-14日 12月定例会・一般質問
- 19日 建設水道常任委員会
- 26日 12月定例会・最終日、議会だより編集委員会

(単位 千円)

# 宇治市 2006年度予算

総額で初の1千億円超え!

会計名	平成18年度	平成17年度	増減	伸率(%)
一般会計	51,800,000	50,450,000	1,350,000	2.7
特別会計合計	44,496,200	43,162,400	1,333,800	3.1
水道事業合計	5,024,050	4,688,884	335,166	7.1
総計	101,320,250	98,301,284	3,018,966	3.1

## 2006年度予算編成方針(宇治市予算の概要より)

本市の財政状況は平成16年度決算において、実質収支は黒字を確保したものの、単年度収支では6509万5千円の赤字となり、7年連続の赤字となる厳しいものとなっています。特に、市政運営の要となる市税は、平成16年度には約216億6千万円となり、平成10年度の約277億5千万円と比較して約61億円減少(22.0%)するという非常に厳しい状況です。

また、歳出においては、扶助費の増加が著しく、平成16年度には約94億8千万円となり、平成10年度の約70億8千万円と比較して約24億円増加(33.9%)となっています。

### 2006年度予算 3つのポイント

#### (1) 安全・安心のまちづくりの推進

安全・安心まちづくり推進 4890万円 (皆 増)  
 防災対策事業 2億6050万円 (318.3%増)

#### (2) 生活周辺維持整備の実施

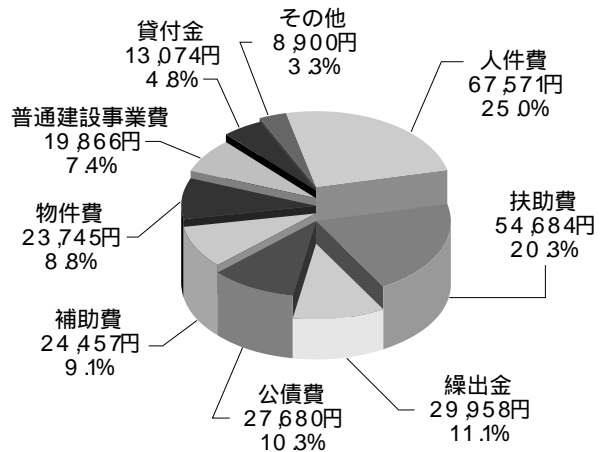
生活周辺維持整備 13億9270万円 (7.9%減)

#### (3) 宇治市発展特別枠 - ゆめ創造21- の継続

各職場における創意工夫や発想の転換を促し、組織の活性化をめざして、「独創的な宇治のまちづくりに資する」をテーマに『宇治市発展特別枠 - ゆめ創造21-』を特別措置として継続

ゆめ創造2事業 25事業 8681万1千円 (7.9%減)

市民一人当たり一般会計歳出性質別予算



### 使用料・手数料の改定

#### 斎場使用料

市外利用者のみ16.67%値上げ(炉の2基増設に伴い)

#### 下水道使用料

22%値上げ(下水道整備着手遅れが工事費増大の要員受益者負担の原則に基づき赤字負担)

#### 国保料

5.4%の値上げ(介護納付金で収支不足を補う為)

#### 介護保険料

17.1%の値上げ(基準月額3,358円 3,933円)

### 編集後記

最初に言い訳ですが、この市議会ニュース6号は府知事選挙の最中、そしてメーリングリストの決着がつかない3月下旬に原稿を書いています。配布は知事選後になりませんが、勝敗の行方以上に気になるのが投票率、50%を下回る選挙に意義があるのか?とさえ感じています。「誰がなっても同じ」と、うそぶく方もいますが絶対に違います。そしてなにより選挙には多額の税金が使われていることを忘れてはならないと思います。

## 民主市民ネット 2006年度予算編成に関する要望

2006年度(平成18年度)予算編成にあたり、私ども民主市民ネットは、本市の抱える今日的課題の解決と市民要望の実現に向け、従来続けてきた予算要望型から議会・議員としての責務、議決機関としての機能、市政全般のチェック・アンドバランス機関として、さらには市長与党としての立場から「市政運営3つの責任」「宇治市政へ30の提言」「地域課題」の三本柱としてまとめました。

#### 【市政運営3つの責任】

- ・未来への責任 ~ 地方主権は行財政改革から ~
- ・5つの未来への責任
- ・現在への責任 ~ 安心・安全のまちづくり ~
- ・8つの現在への責任
- ・過去への責任 ~ 環境の保全と創造 ~
- ・5つの過去への責任

社会問題にも自治体の責務として取り組むこと

#### 【宇治市政へ30の提言】

- (1) 教育・文化・コミュニティ ・11項目の提言
- (2) 子育て・福祉・人権 ・14項目の提言
- (3) 産業・雇用 ・5項目の提言

詳細はひらた研一のHP

(<http://www.wao.or.jp/hirata/>)から活動をご覧ください